

2020年度第8回(第337回) JA 北海道厚生連旭川厚生病院治験審査委員会 会議の記録の概要	
開催日時	2020年11月2日(月) 17:00 ~ 17:30
開催場所	JA 北海道厚生連旭川厚生病院 第1会議室
出席委員名	赤羽 弘充、後藤 充、貴田岡 享、竹田津 原野、柳田 尚之、松ヶ瀬 安邦 岩上 知映、高橋 正樹、亀井 敬介、渡邊 貴久、藤原 等、梅谷 俊一郎、小原 郁司
議論及び審議結果を含む主な議論の概要	
継続中の治験	
【報告事項】	
議題 1	ノバルティスファーマ株式会社の依頼による左室駆出率が低下した日本人慢性心不全患者を対象とした LCZ696 の第Ⅲ相試験【15-03-D】 治験実施計画書添付資料の軽微な変更について報告された。
議題 2	EA ファーマ株式会社の依頼による AJM300 の活動期潰瘍性大腸炎を対象とした第Ⅲ相臨床試験(2)【18-01-D】 治験実施計画書別添資料の軽微な変更について報告された。
議題 3	協和キリン株式会社の依頼による掌蹠膿疱症患者を対象とした KHK4827 の第Ⅲ相試験【19-02-D】 ・治験実施計画書別冊の軽微な変更について報告された。 ・エントリー期間の再延長について報告された。
【審議事項】	
議題 4	日本ペーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による掌蹠膿疱症(PPP)患者を対象とした BI655130 の第Ⅱ相試験【19-01-C】 当該治験薬で海外において発生した未知重篤な有害事象報告及び安全性情報に関する措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。現時点で特別な対応は不要であり、今回の報告による同意説明文書等の改訂は 不要で、治験の継続に問題はないと判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 審議結果:承認
議題 5	協和キリン株式会社の依頼による掌蹠膿疱症患者を対象とした KHK4827 の第Ⅲ相試験【19-02-D】 当該治験薬で海外において発生した未知重篤な有害事象報告及び安全性情報に関する措置報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。現時点で特別な対応は不要であり、今回の報告による同意説明文書等の改訂は 不要で、治験の継続に問題はないと判断している旨の治験責任医師の見解が示された。 審議結果:承認
継続中の臨床研究/特定臨床研究	
【報告事項】	
該当なし	
【審議事項】	
議題 6	HER2 陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究(JBCRG-M06(EMERALD))【18-01-F】 ・実施計画等の軽微な変更について認定臨床研究審査委員会にて審議・承認されたことが報告され、当院においても引き続き研究を実施することの妥当性について審議した。 ・定期報告について認定臨床研究審査委員会にて審議・承認されたことが報告され、当院においても引き続き研究を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認
継続中の製造販売後調査	
【報告事項】	
新規 1 件、変更 1 件、終了 2 件	
【審議事項】	
該当なし	
特記事項	